

近畿本部機械システム部会  
部会長 飯野 勝彦

平成 30 年度 第三回本部原子力・放射線部会 WEB 講演会中継の件

以下の通り本部原子力・放射線部会の講演会を WEB 中継することになりましたので、奮って参加ください。

記

1. 開催予定日時 2018 年 9 月 21 日（金）18：00～20：00
2. WEB 講演会会場 大阪科学技術センター 5F 504 号室（公益社団法人 大阪技術振興協会）
3. 講演等の内容  
講演題目：「低線量・低線量率放射線影響評価の最新の動向」

講師：（国研）量子科学技術研究開発機構

放射線医学総合研究所 山田 裕 氏

概要：(1) 放射線の生体影響と放射線防護の概要  
(2) 低線量・低線量率放射線被ばくのリスク評価に係る課題  
(3) 福島一原子力発電所事故における放射線リスク評価  
(4) 住民の方と向き合うために

講演補足：

放射線被ばくによる健康リスクは、過去の被ばく事故や広島・長崎の原爆被ばく者の追跡調査に基づく疫学研究を中心に評価されている。しかし、低線量の被ばくによる健康影響は、他の健康リスクと比較して統計的に有意な差が得られないほど小さく、定量的評価は難しい状況にある。1F 事故においても、避難・飲食摂取制限等により被ばくは低く抑えられており、健康影響は限りなく小さいことが想定される。

一方で、チェルノブイリ事故の際の甲状腺がん増加と県民健康調査の結果とを比較して、同様の影響をご心配されている方も少なくない。専門家でも、前提条件等を正確に理解し説明できる人が多くないと認識している。そこで、低線量被ばくのリスクに係る現状（最新）の知見、説明可能な部分と未解明の部分を学び直し、これらに向き合うための材料としたいと考えた。

講師には、日本保健物理学会「低線量・低線量率リスク推定法専門研究会」に参加された（国研）量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 山田裕氏を迎え、同研究会での検討内容、その背景にある、低線量・低線量率リスクに係る国内外の動向、関連する分野の最新の研究の状況等について、やさしく解説していただく。

4. 参加費

会費：会員 無料、会員外 1000 円。

5. 参加申し込み方法

日本技術士会近畿本部機械システム部会 WEB サイトにアクセスし必要事項を入力してください。

（下記アドレスを入力するか、近畿本部機械システム部会行事案内にアクセスして下さい）。

<http://www.ipej-kin.jp/bukai/kikai/kikai-gyouji.html>

- ① 2018 年「原子力・放射線部会 WEB 講演会参加申し込み」画面に所定の項目を入力して下さい。
- ② 「確認」を押して、送信して下さい。

なお、講演会に不参加の場合はご連絡不要です。

以上